

白浜地区学校再編検討委員会地区説明会 会議録

日 時 令和3年3月23日(火)
午後7時から午後7時52分まで
場 所 白浜中学校 体育館
出席委員 17名
欠席委員 1名
参加者 23名

1 開会

皆さんこんばんは。本日は、お忙しい中、御参加をいただきまして、誠にありがとうございます。会議の進行を務めさせていただきます、南房総市教育委員会教育総務課学校再編整備室の小高と申します。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、ただいまから、白浜地区学校再編検討委員会地区説明会を開会いたします。

2 始めに、次第の2、委員長挨拶でございますが、白浜地区学校再編検討委員会の栗原委員長より、御挨拶をお願いいたします。

委員長 皆さんこんばんは。夕餉(ゆうげ)の後のおくつろぎの貴重な時間にお集まりいただき、ありがとうございます。

昨年の10月29日に白浜地区学校再編検討委員会第1回会議が開催され、委員長に選出されました栗原です。

私の母校でもあります白浜中学校では、ここ数年、生徒数が少なくなり、団体スポーツの部活ができず、千倉中学校に入学している子もいると聞いております。

母校が気がかりなのか、当時の市議会総務委員会委員長の峯議員が、「学校再編について」の報告書を、昨年の3月議会に提出。白浜地区学校再編検討委員会の立ち上げになりました。

学校というのは、「地域や町づくり」にとって非常に大事な拠点です。いずれにしても、人口が減っていくなかで、統合は避けられない。学校統合により白浜中学校が無くなるのは、非常に寂しいです。学校統合に反対される人たちもいるかと思えます。

11月18日、第2回白浜地区学校再編検討委員会を開催。「白浜中学校と千倉中学校の再編について」議論いたしましたが結論が出ず、白浜幼小中の保護者の意見を聞くことになりました。

12月18日、白浜地区学校再編に関する保護者説明会を開催。概要については、後ほど事務局より報告があります。

1月15日、第3回白浜地区学校再編検討委員会を開催。再編検討委員会として協議、議論し決定しました「白浜中学校と千倉中学校を統合する」という方向性の報告をし、白浜地区の皆さんからの御意見を頂戴する場として、このような会を開催させていただきました。

皆さん、どうぞ自由に意見を発言してください。

なお、質問等に付きましては、まことに申し訳ございませんが、回答者が窮することのない

よう、要点を3点位にまとめ、発言をお願いいたします。

本日は、よろしくお願いいたします。

進行 ありがとうございます。

3 次第の3、教育長挨拶でございますが、南房総市教育委員会三幣教育長から御挨拶を申し上げます。

教育長 こんばんは。お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、昼間は暖かかったのですが、だんだん冷えてきて、あまりいい状況ではないところで大変申し訳ございませんが、私どもの方から白浜中学校の現状について御説明いたします。

今、栗原委員長からもお話がありましたように、検討委員の皆さん方には協議を重ねていただいております。

保護者への説明会を12月に行いました。概ね千倉中学校との統合ということで御理解をいただいているところでありますが、今日、お集まりの皆さんから御質問、御意見をいただきまして、それを踏まえまして、学校再編検討委員会で協議をして、結論を出していただきたいと思っております。

お手元の資料を基に御説明を申し上げますので、忌憚（きたん）のないところで御質問、御意見をいただければ大変ありがたいと思っております。

今日は、よろしくお願いいたします。

4 次第の4、委員の御紹介でございますが、白浜地区の学校再編につきまして検討していただいております、白浜地区学校再編検討委員会委員の方々を御紹介させていただきます。

委員には、学識経験者の委員、行政連絡員代表の委員、保護者代表の委員、学校代表の委員がおられます。

<委員紹介>

<オブザーバー紹介>

<事務局紹介>

5 次第の5、説明に移ります。

(1) 白浜地区の中学校再編について

(2) 白浜地区の中学校の現状について

(3) 白浜地区学校再編に関する保護者説明会の概要について

を一括して事務局から御説明をいたします。

事務局 それでは、説明の前に配付資料の確認をさせていただきます。

まず、1枚目が本日の説明会次第になります。次に資料1として「白浜地区の中学校再編」が1枚、次に資料2として「南房総市立中学校生徒数推移見込み（白浜地区・千倉地区）」がA3の折り畳みで1枚、最後に資料3として「保護者説明会の概要」が両面印刷で3ページまでがホチキス留めとなっております。

配付資料は以上となりますので、御確認ください。無い方は、いらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、次第の5、説明の(1)「白浜地区の中学校再編について」説明します。

資料1の「白浜地区の中学校再編」を御覧ください。

既に新聞報道等で御存じのこととは思いますが、白浜地区の中学校再編(案)が、白浜地区学校再編検討委員会で承認されましたので、御報告いたします。

1番の「白浜地区学校再編検討委員会としての方向性」ですが、第3回白浜地区学校再編検討委員会が1月15日に開催されまして、「白浜中学校と千倉中学校を統合する。」という方向に決定をいたしました。

次に、2番の「千倉中学校との統合の理由」ですが、アからオまで、5項目について、順不同に記載しております。

ア 生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくためには、統合により、生徒数を確保することが望ましいと考えられるため。

イ 白浜中学校は、現在、各学年1クラスだが、統合することにより、2クラス又は3クラスの学級編制ができ、クラス同士が切磋琢磨する教育活動や、クラス替えが可能となるため。

ウ 学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じつつあるが、統合することによって教員の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供できるようになるため。

エ 生徒数の減少により部活動の実施が厳しくなっているが、統合することによって充実した部活動が実施できるため。

オ 白浜中学校から学校間の距離が一番近い中学校が千倉中学校であり、白浜地区及び千倉地区の遠方から、30分程度でスクールバス通学が可能であるため。

以上が、千倉中学校との統合の理由です。

最後に、3番の「学校の再編時期、学校の位置、学校の名称について」ですが、学校の再編時期、位置、名称に関する事項は、条例、規則等の改正を伴う重要事項であり、基本的合意事項となります。この基本的合意事項である3項目については、今後、千倉地区学校再編検討委員会を設置し、白浜地区及び千倉地区学校再編検討委員会の合同会議で協議・検討することを考えています。

続きまして、説明の(2)「白浜地区の中学校の現状について」説明します。

資料2の「南房総市立中学校生徒数推移見込み(白浜地区・千倉地区)」を御覧ください。

この表は、令和2年5月1日現在の学校基本調査及び住民基本台帳を基に作成したものでなっております。

白浜中学校の生徒数計の欄を御覧ください。

今年度が58人です。令和3年度が資料では67人となっておりますが、来年度1年生になる28人のうち、11人が別の中学校に入る見込みとなっております、生徒数の合計は56人になる見込みです。さらに、令和6年度から今よりも生徒数が減り、令和14年度には、41人になることが見込まれます。

次に、白浜中学校のクラス数の欄を御覧ください。

白浜中学校は、現在、各学年1クラスですが、この状況は、今後も続くことが見込まれます。
次に、千倉中学校の生徒数計の欄を御覧ください。

今年度が194人です。令和3年度が190人、令和4年度が197人ですが、千倉中学校も生徒数が減り、令和14年度には、97人になることが見込まれます。

次に、千倉中学校のクラス数の欄を御覧ください。

千倉中学校は、現在、各学年2クラスですが、この状況は、令和12年度まで続き、令和13年度には、1年、2年が1クラスで3年が2クラス、令和14年度には、各学年1クラスになることが見込まれます。

次に、合計の欄を御覧ください。

白浜中学校と千倉中学校が統合した場合の生徒数、クラス数となります。

年度によって変わってきますが、2クラス又は3クラスの学級編制が可能となります。

次に、表の下の方ですけれども、令和2年度教員の配置数を御覧ください。

白浜中学校の教員の配置数ですが、現在の白浜中学校の正規の教員は、8人です。その他に会計年度任用職員として、技術・体育・家庭科・美術の教科担任講師が1人ずつ、合計4人います。

次に、千倉中学校の教員の配置数ですが、現在の千倉中学校の正規の教員は、13人です。その他に臨時的任用講師として、数学のチームティーチングの講師が1人、県から派遣されています。

続きまして、説明の(3)「白浜地区学校再編に関する保護者説明会の概要について」を説明いたします。

資料3の「白浜地区学校再編に関する保護者説明会の概要」を御覧ください。

昨年12月18日に白浜小学校及び白浜中学校の保護者を対象に白浜地区学校再編に関する保護者説明会を開催しました。

「白浜地区の中学校再編(案)」及び「白浜地区の中学校の現状について」を説明したところ、保護者の方からいろいろな御意見、御質問をいただきましたので、報告させていただきます。

1 「統合に対して特に反対ではないですが、いつ頃統合する予定ですか。」

「1」の質問に対して事務局からは、「統合の時期は、白浜地区と千倉地区合同の学校再編検討委員会で決めていきます。」と回答しています。

2 「統合に関して反対する気持ちはないですが、統合後の学校の場所は、まだ決まっていないのですか。」

「2」の質問に対して事務局からは、「白浜地区と千倉地区合同の再編検討委員会の会議の中で、通学の距離等を含めて提案することを考えています。」と回答しています。

3 「統合した場合にスクールバスは出ますか。」

「3」の質問に対して事務局からは、「中学校の場合、通学距離が4km以上の生徒には、スクールバスを用意します。」と回答しています。

4 「部活をしている生徒のために、土日にスクールバスは出ますか。」

「4」の質問に対して事務局からは、「土日の部活のためのスクールバスは、2便運行したいと考えています。」と回答しています。

5 「子どもが少ないことは、メリット・デメリットがあると思いますが、大きい学校に行けば、学年の中にライバルがいて、部活動でもレギュラー争いをすることによって個々が成長していくと思うので、子どもたちが成長できる場面を考えたら、統合していくのが一番だと思います。」という意見をいただきました。

6 「形的に吸収合併になるのは残念だと思いますので、統合の方法については、御検討いただきたいと思います。」

「6」の意見に対して事務局からは、「白浜中学校と千倉中学校を含め、今までのすべての統合は、吸収合併という考え方ではなく、対等な立場で統合していくという考え方で進んでいます。」と回答しています。

7 「今日の会議は、何の決着を目的としているのでしょうか。」

「7」の質問に対して事務局からは、「この会議は結論を出す会ではなく、保護者の皆さんがどういう考えを持っているかを知るために開催しました。」と回答しています。

8 「白浜中学校、千倉中学校を使うほかに、新しく学校を建てることも考えているのですか。」

「8」の質問に対して事務局からは、「新しく学校を建てることをまったく考えていない訳ではないですが、本市の財政的な状況や、使えるものは使っていくということが多くの市民の理解を得られることになるということを含め、考えたいと思います。」と回答しています。

9 「千倉中学校の老朽化を考えた場合、白浜中学校と比較してどちらを残すお考えですか。」

「9」の質問に対して事務局からは、「千倉中学校は、令和3年度、4年度で大規模改修を行う予定です。」「学校の位置については、白浜地区と千倉地区合同の再編検討委員会でいろいろな条件をそろえて提案する予定です。」と回答しています。

10 「千倉中学校に統合する場合、残った建物をその後、どのように使っていきますか。」

「10」の質問に対して事務局からは、「統合後、白浜中学校の校舎を使わないとすれば、校舎の活用については、しっかり考えていかなければいけないと考えています。」と回答しています。

11 「千倉中学校の改修工事は決定ですか。」

「11」の質問に対して事務局からは、「千倉中学校は、建ててからかなりの年数が経っているため、当初の予定どおりの改修計画です。」と回答しています。

12 「統合して場所が変わることを考えたら、千倉中学校の改修工事は無駄になることもあるのではないですか。」

「12」の質問に対して事務局からは、「和田中学校のグラウンドについても統合の話がありましたが、そのあとの利活用を考え改修しました。千倉中学校の校舎についても解体することは考えにくいため、当初の計画どおり改修を考えています。」と回答しています。

13 「どのくらいの準備期間を経て、実際に統合するのですか。」

「13」の質問に対して事務局からは、「早くても2年や3年かかるかと思いますが、再編検討委員会、地区の皆さん方の気持ち、考え次第で、非常に時間がかかることも想定しています。」と回答しています。

14 「次に何か進展があったときに、また説明会を開く形になりますか。」

「14」の質問に対して事務局からは、「再編検討委員会の皆さんの判断で進めていきたいと思っています。」と回答しています。

15 「場所的な問題などで、皆さんが納得するかしらないかというのが出てくるのではないかと思います。どのタイミングで決まってくるのかが心配です。」

「15」の意見に対して事務局からは、「学校というものに対しては、地区の皆さんそれぞれいろいろな思いがありますので、地区の皆さんの気持ちを充分いただきながら進めていきたいと思っています。」と回答しています。

16 「白浜中学校と千倉中学校の海拔のことを考えれば、白浜中学校はNGですね。」

「16」の意見に対して事務局からは、「海拔の問題で白浜中学校がだめだということは、今の段階では考えていません。海拔を含めて、いろいろな観点から学校の位置については提案したいと思っています。」と回答しています。

17 「今現在、千倉の方では、学校再編検討委員会は立ち上がっていないのでしょうか。」

「17」の質問に対して事務局からは、「立ち上がっていません。」と回答しています。

18 「白浜地区で意見がまとまってから、千倉地区にお願いする形で千倉地区の学校再編検討委員会を立ち上げる形になるのでしょうか。」

「18」の質問に対して事務局からは、「お願いするような形ではありません。白浜中学校だけの問題ではなく、千倉中学校の将来の問題でもあるということで、千倉地区の学校再編検討委員会を立ち上げていく考えです。」と回答しています。

19 「今回の話の内容は、共通の認識として、子どもを通じて保護者に配付をお願いしたいです。」

「19」の意見に対して事務局からは、「ホームページに今日の会議録は載せる考えです。」
「保護者への配付については、PTAの役員の方々や委員長と相談したいと思っています。」と回答しています。

なお、保護者説明会会議録及び会議資料を市のホームページに掲載し、白浜幼稚園、白浜小学校及び白浜中学校の保護者に保護者説明会の概要を配付しております。

20 「今日の雰囲気を感じていると、概ね皆さん統合の方向に賛成の方が多いのかなと感じました。」「このまま再編検討委員の方で統合という形になっていく場合、詳しいことが決まってきたら、早めの段階で保護者に説明会を開いていただけるとありがたいです。」

「20」の意見に対して事務局からは、「今の意見を踏まえ、委員の皆さんが、結論を出していただけると幸いです。」と回答しています。また、委員から、「保護者説明会は、引き続き行っていきたいと考えています。」という意見をいただいています。

21 「この先の子どもの人数を考えると、もう限界にきていると思うので、統合の話は、是非、前向きに進めていただければと思います。」「ゆっくり時間を使って、いろいろ皆さんの意見を聞いて、丁寧に進めていただければいいのかなと思っています。」「この町から学校が無くなるのは寂しいですが、子どものことを考えたら、統合の方向で進めていただくのがいいのかなと思います。」という意見をいただいています。

以上が保護者からいただいた御意見・御質問ですが、特に統合に反対の意見等は無く、概ね統合の方向には賛成との御意見が見られました。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

6 説明が終わりました。

これから、次第の6の質疑・意見交換に移らせていただきます。

ただいま御説明いたしました、白浜地区の中学校再編について、白浜地区の中学校の現状について、白浜地区学校再編に関する保護者説明会の概要について御質問、御意見、分からないこと等ございましたら、お手を挙げていただきますよう、お願いいたします。

なお、職員がマイクをお持ちしますので、自席にてお待ちいただきたいと思っております。

参加者 参考までにお聞きしたいのですが、白浜中学校の収容人数は、どのくらいですか。

教育長 教室の大きさとしましては、各学年2クラス分ありますので、1学年75人程度はこの学校へ収容できるということになります。今の学校の必要な教室数としますと、普通教室プラス一つのクラスを二つに分けて勉強するような少人数教室が必要になってきますので、普通教室が6教室分ありますが、各学年2クラスまでは無理な状況の校舎かなと思います。

参加者 分かりました。部活動の面でも、無理ということですね。

教育長 部活動については、現在、子どもがお預かりしている子どもたちの人数に合わせて、部活動の種類、数を決めて実施していますので、生徒の数が少なければ少ないほど、部活動で展開できる種目は、少なくなってざるを得ないということになってきます。

参加者 ということは、将来的には、白浜中学校は残る可能性は無いということでしょうか。

教育長 白浜地区の皆さん方の総意で、たとえどんなに少なくなっても白浜中学校としてやっぺいこうということでしたら、子どももそれは尊重しなければいけないと思っております。ただ、現状の生徒数の少なさを説明申し上げましたけれど、できるだけ可能な限り、生徒の学習環境を整えていきたいと思っておりますので、可能性があれば、学校統合をして、子どもたちの数を多くする。教員の数を多くする。そのなかで、中学校教育を展開していきたいと思っております。

参加者 千倉地区の今現在の学校再編検討委員会の状況が分かれば、教えてください。

教育長 千倉地区については、先ほどの説明にありましたけれど、学校再編検討委員会の組織そのものを立ち上げていない状況であります。

生徒数が少なくなっていくという、白浜地区と同じような問題を抱えておりますが、白浜地区の方がより喫緊の課題になってきておりますので、白浜地区の皆さん方の意向を確認し、白浜地区の皆さんが統合という方向を出していただいたあと、千倉地区の方で立ち上げていくという考えでおります。

参加者 生徒数の推移見込みで、来年度11人が別の中学校に入る見込みという説明があったのですが、白浜中学校と千倉中学校の合計の生徒数は変わらないのでしょうか。

教育長 令和3年度で言いますと、11人のうち千倉中学校に行く生徒が8人ですので、白浜中学校と千倉中学校の合計の生徒数は3人減り254人ということになります。

令和4年度も3人減り264人、令和5年度も3人減り248人ということになります。

参加者 ますます白浜中学校の生徒が減っていく。何人かは千倉中学校に行くということが分かりました。資料1のとおり、学校再編検討委員会の結論は、「白浜中学校と千倉中学校を統合す

る」ということですので、私の意見ですが、千倉地区と白浜地区でたぶん考えの温度差はあると思いますけれど、統合していくことで進んでいったらどうかと、いいのではないかなと思っています。

主役はここにいる人たちではなくて、児童・生徒ですので、児童・生徒にとって、どれが一番いいかということを考えて、進んでいただければよろしいと思います。

教育長 補足させていただきますけれど、来年度、白浜中学校に入る予定の28人のうち11人減って17人ということなのですが、これは、白浜地区だけの問題ではありません。

統合があるから千倉中学校に行くということではなくて、あくまでも部活動の問題です。例えば、富浦地区から、部活動をやりたいということで5人、6人まとまって、千倉中学校に来る例があります。

自分のやりたい部活動が無いので、部活動が展開できる別の中学校に行くということが非常に多くなってきておりますので、先行き統合するのだから千倉中学校に先に行っているという動きではないということは、御理解いただければと思います。

オブザーバー 今までも、毎年小学校を卒業して、白浜中学校に来る生徒のうち何人か必ず他の中学校に行っていますよね。

その中で、今年は28人中11人と特別多いと思うのですが、令和4年度になるとまた18人のうち何人かが他の中学校に行き、令和5年度になると19人のうち何人かが他の中学校に行くとなると、「まずいな。一桁になったらどうするのかな。」と考えまして、その可能性もあるということですか。

教育長 私どもも判断しかねるところがあります。

これは、小学校の時にいろいろなスポーツ団体に入っている子どもたちが多くと、そのまま中学校でもそのスポーツを続けたいという子どもも多くなります。例えば、サッカーを小学校でやっていて、そのまま中学校で続けたいということになると、サッカー部のある中学校に行くとか、あるいは、バレーボールをやっていて、自分のバレーボールの力を試すのには、どの学校がいいだろうとか、そういうようなことが大きな要素になってきますので、今の段階から、来年度と同じような割合で白浜中学校以外の中学校に行くということは、私どももつかみきれていないのが正直なところですよ。

オブザーバー 他の中学に行く生徒がゼロということは、今まで無いですよ。

教育長 私の知っている限りでは、バレーボールをやる子たちが千倉中学校に行くとか、そういったことで毎年何人かはいたように記憶しております。

参加者 子どもがだんだん少なくなって、よそへ越境していく。そういったことを含めて、今、こうして再編の話をしてはいますが、具体的に、ここで皆さんどうですかと聞いても、絶対的な人数は増えるわけではありませんので、この会議は、今日はこれでいいですけど、次回は、市の方から青写真を出して、例えば、2年とか、3年、4年等のある程度工程表を作って、こういう動きでいきたいということを逆に提示された方がいいのではないかと思いますけれど、どう考えますか。

教育長 来週に白浜地区の学校再編検討委員会を開く予定になっております。白浜中学校と千倉中学校の統合の方向ということで今決まっていますけれど、そこで統合しようという結論を出

していただければ、年度が替わりまして、千倉地区の学校再編検討委員会を立ち上げます。千倉地区の学校再編検討委員会の方で白浜中学校と統合しようという結論が出ましたら、千倉地区と白浜地区の合同の学校再編検討委員会で、先ほど、最初に申し上げましたが、学校の再編時期とか、学校の位置とか、学校の名称ですね。そういったものについて、合同で協議していただく、そういう予定を考えております。

従いまして、どの段階でスケジュール的なものが出せるか分かりませんが、まず、白浜地区で結論を出す。それを受けて、千倉地区の学校再編検討委員会を立ち上げて、そこで、白浜中学校との統合の是非を決めていただくということになると思います。

参加者 白浜地区の賛否というか、良し悪しじゃないですけど、これは、保護者の賛成、反対の人数で決めるのですか。それとも、別の形で決定されるのですか。

教育長 保護者の意向については、12月の説明会の時に、概ね反対は無く、賛成の意見が多かったということで、私どもも、学校再編検討委員の皆さん方も理解しております。

今日、皆さん方に御説明申し上げましたけれど、ここでも特に反対は無く、子どもたちの将来を考えると、統合もやむを得ないのではないかと、そんなふうには理解できるのではないかなと私は思っております。

そして、来週、学校再編検討委員会で今日の説明会の様子を踏まえて、話し合っていたいで、結論を出していただくことを考えております。

進行 他にございますでしょうか。

特に無いようでございますので、閉会の方をさせていただきますが、よろしいでしょうか。それでは、以上をもちまして、白浜地区学校再編検討委員会地区説明会を閉会いたします。御協力をいただき、ありがとうございました。

<閉会>